

イチオシ!

M OVIE

『鉄くず拾いの物語』

ボスニア・ヘルツェゴヴィナに住むロマ族の一家。夫ナジフは拾った鉄くずを売って家族の生活を支え、貧しいながらも幸せな生活を送っていた。しかしある日、妻セナダが激しい腹痛に襲われ、すぐに手術をしないと命が危ないと医師に宣告されてしまう。保険証すらないナジフは、とても手術費を払うことができない。そこで彼は、死にも狂いで鉄くずを拾い始めるのだが…。差別や貧困に直面する中、愛する人を守るため、人は何ができるのか。ナジフやセナダ本人が記憶をたどりながら演じた真実の物語。



2013年／ボスニア・ヘルツェゴヴィナ、フランス、スロベニア／74分
 監督：ダニス・タノヴィッチ
 出演：セナダ・アリマノヴィッチ、ナジフ・ムジチ他
 公開：1月11日(土)より、新宿武蔵野館(東京)他、全国順次公開
 URL：www.bitters.co.jp/tetsukuzu/
 配給・問：ピタース・エンド
 TEL：03-3462-0345

E VENT

『ワン・ワールド・フェスティバル』

関西を拠点に活動する国際協力NGOを中心に、大学、企業、国際機関、JICA、地方自治体などが一堂に会する年に一度のイベント。各団体の活動を紹介するブースや、来場者が世界の課題について楽しみながら学べる体験型プログラムもある。ステージでは、「なんとかしなきゃ! プロジェクト」著名人メンバーのルー大柴さんによるフィジー訪問レポートや、医師の桑山紀彦さんの歌と語りを通じて世界を知る「地球のステージ」を開催。2013年夏にルワンダを訪れた国際協力レポーターと国際協力NGOのスタッフ、桑山さんが国際協力について語り合うコーナーもある。国際協力へのさまざまな関わり方を知り、参加するチャンスをつかもう。

会期：2月1日(土)、2日(日) 10~17時
 会場：大阪国際交流センター(大阪市)
 URL：www.interpeople.or.jp/owf/
 問：ワン・ワールド・フェスティバル実行委員会事務局
 TEL：06-6944-0407

B OOK

『シャプラニール流 人生を変える働き方』

「どんな仕事に就きたいですか?」。そう聞かれて、あなたはどうか。人生で大切にしたいことを仕事にする。東日本大震災を機に、自分の“生き方”を問い直す人が増えた今、新しいキャリアの選択肢として広がっているのがNGOだ。日本に約400団体あるといわれる国際協力NGOの中で、40年の歴史を持つ認定NPO法人シャプラニール=市民による海外協力の会。その活動に携わる人々に会うために、タレントの藤岡みなみさんがバングラデシュとネパールに向かった。彼らは何を思い、異国の地で国際協力に取り組むのか。人と人をつなぐ縁に心動かされながら、“シャプラニール流”の働き方のヒントをひもといていく。



藤岡みなみ、2025PROJECT 著
 渋谷敦志 写真
 エスプレ
 1,680円(税込)

この本を
 1人の方に
 プレゼント
 詳細は
 38ページへ

B OOK

『マイウェイ国際協力 中東・アフリカ・アジア30年の軌跡』

「国際人とは、時間をかけて技を磨きあげ、一流になっていく職人の世界のようなものだ」。そう語る著者は、かつて青年海外協力隊としてシリアで活動し、イラク、エジプトでの長期滞在を経てJICAに就職。バングラデシュ、ケニア、パレスチナ事務所に駐在し、さまざまな困難にも不屈の精神で立ち向かった。その30年の国際協力の軌跡を振り返り、日本の若者たちに「世界に出でよ!」と訴える。踏み出す勇気さえあれば、国際協力は誰にでもできる。あなたの背中を押してくれる一冊。



成瀬猛 著
 麗澤大学出版会
 1,680円(税込)

この本を
 1人の方に
 プレゼント
 詳細は
 38ページへ

新しい年に

明けましておめでとございます。

昨年末、フィリピンは台風30号による甚大な被害に見舞われました。高潮にのまれた街は、東日本大震災を想起させる悲しい姿でした。いち早く救援に駆け付けた日本の国際緊急援助隊（JDR）の医療チームの中には、東日本大震災で救援活動にあたり、その経験を今回の活動に生かした方々も多くおられます。フィリピンはこれから、被災地の再建に向けた険しい道を歩むこととなります。私たちの復興の経験をフィリピンに役立てたい。JICAは大震災からの復興の過程で学んだ教訓や経験を集めて、フィリピンの中長期的な復興につなげていく仕事に取り掛かりました。

日本でも大雨や土砂崩れなど、大災害は経験したことのない規模で襲ってきます。激甚化する自然災害への対応は、世界中の国々で深刻な課題になっています。国内外を問わず、世界各国が共通する課題に一体的に取り組み、経験を共有し、明日に備えていく。それこそが私たちがこれから最優先で進めていかなければならない挑戦でしょう。そしてその時、大切なのは、市民一人一人が大きな役割を果たすことができるということです。

2014年は日本政府開発援助（ODA）を開始して60年になります。還暦を迎えたODAは、この60年の間に、政府レベルの取り組みを超えて、市民一人一人が主要なプレイヤーになる国際協力へと大きく変貌を遂げてきました。今年のJICAは、さまざまな機会を捉えて、これまでのODAの成果を広くご紹介するとともに、これからの国際協力について皆さんと一緒に考え、共に行動していきたいと思っています。2014年が、世界中の人々に平和と喜びを与えてくれる年になりますように。本年もどうぞよろしくお祈り致します。

JICA広報室長 鈴木規子

本誌へのご意見・ご感想や
JICAへのご質問を
お寄せください。

プレゼント
付き

添付のアンケートはがき、Eメール、FAXから、本誌に対するご意見やご感想、またJICAへのご質問を、氏名・住所・電話番号・職業・年齢・性別・ご希望のプレゼントを明記の上、お送りください。ご記入いただいた個人情報統計処理およびプレゼント発送以外の目的で使用いたしません。当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。

◎応募締切：2014年2月15日

Eメール：jica@idj.co.jp
FAX：03-3221-5584（『mundi』編集部宛）

- ① フィリピンの雑貨
- ② 書籍『シャプラニール流 人生を変える働き方』（p37参照）
- ③ 書籍『マイウェイ国際協力 中東・アフリカ・アジア30年の軌跡』（p37参照）



①



②

③

本誌をご希望の場合は
下記方法で
お申し込みください。

申込方法

本誌をご希望の方には、送料をご負担いただく形でご送付いたします。巻末の払込取扱票に、氏名・住所・電話番号・ご希望の送付期間・送付開始月を明記の上、指定の金額を郵便局でお支払ください。入金確認後、発送手配をいたします（入金から1週間程度かかることもありますのでご了承ください）。複数冊、またはバックナンバーをご希望の方は送料が異なりますので、下記までお問い合わせください。

申込先 (株)国際開発ジャーナル社 総務部(発送代行)
住所 〒102-0083 東京都千代田区麹町3-2-4 麹町HFビル9F
TEL 03-3221-5583
FAX 03-3221-5584
Eメール order@idj.co.jp



次号予告 (2014年2月1日発行予定)

ヨルダン、パレスチナ、シリア

シリアを中心に情勢不安が続く中東。この地域の安定を実現すべく、ヨルダン、パレスチナ、シリアで行っている国際社会と日本の協力を紹介します。

mundi

JANUARY 2014 No.4

編集・発行／独立行政法人 国際協力機構 Japan International Cooperation Agency : JICA

〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

TEL : 03-5226-9781 FAX : 03-5226-6396 URL : <http://www.jica.go.jp/>

バックナンバーはJICAホームページ (<http://www.jica.go.jp/publication/mundi/>) でご覧いただけます。

本誌掲載の記事、写真、イラストなどの無断転載を禁じます。